



平成20年7月7日
内閣府（防災担当）

「重要文化財建造物の総合防災対策検討会」（第1回）の開催について

本年2月に開催された中央防災会議において「東南海、南海地震等に関する専門調査会」より、中部圏・近畿圏の内陸地震による文化遺産の被災可能性が報告された。

この報告を受けて、重要文化財建造物が集中する近畿圏（全国の約4割）内に所在する重要文化財建造物の防災設備及び耐震性能について実態を把握し、重要文化財建造物自体の防火・耐震対策に加え、周辺市街地における延焼防止対策等も含め、大規模地震等への総合的な防災対策の検討を行うことを目的として、防災、文化財、建築、都市計画等の分野の有識者を委員とする本検討会を開催することとした。

1. 日 時 : 平成20年7月14日（月） 10:30～12:30
2. 場 所 : 中央合同庁舎第7号館西館9階（金融庁側） 共用会議室3
〒100-8967 東京都千代田区霞ヶ関3-2-1
3. 議 題 :
 - ・ 本検討会の基本方針について
 - ・ 重要文化財建造物の防災対策の現状と課題について
4. 取 材 :
 - ・ 会議は非公開。ただし、泉内閣府特命担当大臣（防災）の会議冒頭挨拶時カメラ撮り可。
 - ・ 検討会終了後、内閣府、文部科学省及び国土交通省において議事概要を貼り出し予定。

※文部科学省記者クラブ、国土交通省記者会においても発表

本件問い合わせ先

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（地震・火山対策担当）付

参事官補佐 佐藤 豊

主 査 矢萩 智裕

TEL : 03-3501-5693（直通）

FAX : 03-3501-5199

重要文化財建造物の総合防災対策検討会委員名簿

学識委員

座長	土岐 憲三	立命館大学教授
	岡田 恒男	東京大学名誉教授
	落合 偉洲	社団法人全国国宝重要文化財所有者連盟理事長
	小出 治	東京大学大学院教授
	小林 重敬	武蔵工業大学教授
	後藤 治	工学院大学教授
	坂本 功	慶応義塾大学教授
	関沢 愛	東京大学大学院教授
	西 和夫	神奈川大学教授
	長谷見雄二	早稲田大学理工学術院教授
	室崎 益輝	関西学院大学総合政策学部教授

行政委員（関係省庁）

池内 幸司	内閣府政策統括官（防災担当）地震・火山対策担当参事官
梅原 直	総務省消防庁予防課長
大和 智	文部科学省文化庁文化財部建造物担当参事官
高橋 忍	国土交通省都市・地域整備局都市・地域安全課長

事務局

内閣府政策統括官（防災担当）
総務省消防庁
文部科学省文化庁
国土交通省都市・地域整備局

周辺地域と一体となった重要文化財建造物の総合的な 防災対策推進方策に関する調査（概要）

背景・課題

平成20年2月の中央防災会議において、「東南海、南海地震等に関する専門調査会」より中部圏・近畿圏の内陸直下地震による文化遺産の被災可能性について報告された。

我が国の重要文化財（建造物）の約9割が木造であることに鑑み、重要文化財（建造物）が集中する近畿圏（全国の約4割）に所在する重要文化財（建造物）を対象とし、それらに設置された防災設備及び耐震性能について実態を把握して、重要文化財（建造物）及びそれに近接する建造物や周辺の市街地も含めた一体的かつ総合的な防災対策を講じる必要がある。

「総合的な防災対策の推進に係る調査検討項目（防火・耐震）」

1. 重要文化財建造物及び周辺の建造物等の防火設備の実態把握

→総合的な防災対策を検討する上で、重文及び周辺の建築物等に求められる防火設備の要求性能を検討するための基礎データ

2. 重要文化財建造物の耐震性能の実態把握

→耐震性能を把握した上で、簡易耐震補強の在り方や更なる耐震対策を検討するための基礎データ

3. 重要文化財建造物が所在する市街地等の災害危険性の実態把握及び方策の検討

→周辺地域の特性を把握し、モデル地区におけるシミュレーションを実施し、整備方針を検討するための基礎データ

重要文化財建造物の総合防災対策検討会

【調査結果の分析】

重文の構造（木造、煉瓦造等）、用途、公開状況、周辺市街地の状況等をタイプ分け



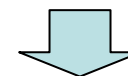
【重要文化財建造物に関する検討事項】

- ・求められる防火設備のあり方
- ・段階的な耐震対策のあり方
- ・周辺市街地の都市防災のあり方



【提言】

重要文化財建造物の総合的な防災対策を促進するための基本的な方向性の取りまとめ



中部圏・近畿圏の内陸直下地震に係る
地震防災対策への反映